

まち

No.9 2017年 秋号

発行日：平成29年10月23日
発行：日本大学理工学部まちづくり工学科教室
☎03-3269-0531(学科事務室)
発行責任者：八藤後 猛(教室主任)
編集担当：横内憲久
制作：株式会社 ムーンドッグ

巻頭言

地元のベストスペースを紡いで、ふるさとづくりに取り組む

教授 岡田 智秀



自分自身が生まれ育ったいわゆる“地元”について、自慢できるものが何もないという言葉をよく聞かすが、「自分にとってのお気に入りの場所（ベストスペース）」とくれば大抵は思いつくであろう。しかし、それを他人に口外することの恥ずかしさもあってか、なかなか口に出さずに日々過ごしていると、ひょんなきっかけで同じ地元の人との会話の中から「あれ、君もそう思っていたのか」あるいは「いわれてみれば確かにそれって大切にしたいよね」などと気づきが発生し、そこからそのスポットの価値共有、さらに期待すべきは、そのスポットを中心にまちづくりへと発展することだ。実はこの一連の流れを意図的に構築しようとする取り組みが「ワークショップ」なのである。筆者はこの数年来、自身の地元である東京都大田区立の3つの小学校や、東日本大震災で津波被害を受けた福島県いわき市の四倉小6年生らを対象に“ふるさとづくりワークショップ”に取り組んでいる。開発の波や津波被害によって町の姿が大きく改変する中で、そうした波にも負けない自分の「お気に入り（ベストスペース）」を見つけてもらい、それを児童間で共有し、地元に着愛を持ってもらうことが狙いだ。大田区は住・商・工が混在するいわゆる下町であり、観光地のような特徴ある地域資源があるわけでもない。しかし、いざ児童らと筆者の研究室に所属するゼミ生らが一堂に会してまち歩きをしたり、ワークショップに取り組んだりすると、児童ならではの発

見に驚かされる。例えば、病院を挙げる複数の児童がいたが、これは、病院の軒にツバメの巣があり、そこからツバメのフンが通行人に当たらないようビニール傘が巣の下にかかっているという病院スタッフの思いやりが評価されていた。また、商業が集積する当地区は祭礼が盛んであるが、数ある神社の中でも一番人気は神輿が常時ガラス戸越しに眺められる根岸神社であり、また、おつかいに行くとき必ずおまけがもらえる肉屋さんなども挙げられた。また四倉小での「津波に負けなかったまちのお宝」として興味深かったのは、太平洋が一望できる高台の神社境内地や、漁師町であるがゆえに品数の多い魚屋さんを高く評価していたことだった。津波が来襲する町でも「海が見えること」や「海の幸」を大切に思う児童たちである。これらの成果物は児童らとゼミ生らとの共同作品として「ふるさとまち歩きマップ」として地元の方々に配布したので、まちの中で児童の保護者の方からたびたびお礼を言われることをうれしく思う。さらに、四倉小では日常活用できるまち歩きマップの中に、児童らの現地調査結果として津波襲来時の避難ルートや津波避難地を書き込み、地元行政の方からも認定をいただくという、地元児童作の津波防災&まち歩きマップが誕生した。この作品は地元で喜ばれたため、現在では、津波記念館と海浜地に特大マップが設置され、東日本大震災発災日の毎年3月11日に四倉小児童らが海浜地のマップ周辺に花を植え、海に向けて黙

とうを捧げるという、津波の記憶を風化させないためのまちづくりへと発展していつている。

以上のことは、児童の心に内在している“自分にとっての地元のベストスペース”を紡いでいき、マップ上で“見える化”することで、地元児童らが地元を見つめ、地元を誇りへと感ずる端緒になっていると、校長先生や担任教諭が笑顔でそう伝えてくれた。



津波に負けなかったまちのベストスペースを大型マップ化した周囲を花で飾り、鎮魂の意を込めて海に向かって黙とうする地元児童（2016年3月11日）



大田区立入新井第一小学校6年生児童が地元ベストスペースを表現した「大森ふるさとマップ」（2016年11月作成）

お気に入りの場所「教員編」

地元

神田御茶ノ水神保町

まちづくり工学科の学生、教員は“地元”のまちの情報（歴史・文化・地形・店舗・建物・構造物・景観・居心地・緑地・町会等々）に精通していなければなりません。

どうして？

なぜなら、情報を知り、それを駆使して、まちをより快適で、安全で、美しいものに仕上げていくのがこの学科の使命だからです。この特集では、まち科18人の先生方にジャンルを問わず地元でお気に入りの場所を挙げていただきました。アンケートの条件は「現時点で実在していること」、つまり行ってみることができる場所、そしてお薦めの一言を付けることです。この短いコメントに先生方の個性が表れています。

「モヤモヤさまぁ〜ず」「ぶらり途中下車の旅」「出沒！アド街ック天国」にも負けない情報量。さあ、これを持って、まちに出て、“地元”の達人になろう！！

お気に入りのわけ

- | | |
|---------|------------|
| Ⓐ 天野光一 | Ⓔ 城内 博 |
| Ⓒ 岡田智秀 | Ⓕ 阿部貴弘 |
| Ⓔ 小木曾 裕 | Ⓗ 押田(川田)佳子 |
| Ⓖ 後藤 浩 | Ⓐ 依田光正 |
| Ⓒ 高村義晴 | Ⓐ 山崎 晋 |
| Ⓔ 田中 賢 | Ⓐ 落合正行 |
| Ⓗ 仲村成貴 | Ⓐ 田島洋輔 |
| Ⓐ 八藤後 猛 | Ⓐ 西山孝樹 |
| Ⓐ 青木和夫 | Ⓐ 牟田聡子 |

1位 6票 南洋堂書店

書店

- ・専門書の宝庫。まち科の学生ならここは押さえておくべき(押)
- ・高値で出回るまちづくり関連の貴重書(古書)が定価で手に入ることも(阿)
- ・吹き抜け空間の雰囲気〇、狭くても書籍の並べ方のセンスが良い(山)
- ・あっという間に時間が過ぎるほど居心地の良い空間(幸)
- ・店内にただでアイデアが浮かぶ、創造が膨らむ書店(落)
- ・割引あり。洋書の品ぞろえが良いので地方からの来店者も多い(八)

全国に知れわたる建築系図書専門店。まち科で知らないといふ(横)



3位 4票 御茶ノ水橋

土木構造物

景観・眺望

- ・鋼製π型ラーメン橋、下部にピン支承が見える。シンプルなシルエットが良い(仲)
- ・神田川、聖橋、丸ノ内線、中央線を一望(天)
- ・聖橋を眺める最良の視点場(阿)
- ・橋上で立ち止まると過去から現在まで人々の交雑に思いが至る(依)

聖橋と一対で御茶ノ水を象徴している。電車好き、橋好き、上架橋好きにはたまらない(横)



4位 3票 神田志乃多寿司本店

食事(寿司)

- ・いなり寿司がとくに好きじゃない人にもぜひ食べてもらいたい(仲)
- ・「こないなり寿司があるんだ」とびっくりすること間違いなし(城)
- ・地下で大阪寿司が食べられる(青)



4位 3票 明倫館書店

書店

- ・自然科学や理工学専門の古書店だが新しい本もある。多分野の古今を知ることができる場所(依)(仲)(岡)

店主は三代目。売り方もアクティブでHPやメールを駆使(横)



2位^{5票} ニコライ堂

史跡・神社仏閣・教会

- 日本初にして最大級のビザンティン様式の教会建築^(ハ)
- 御茶ノ水の歴史を語る空間。歴史の積み重ねを感じさせてくれる^(高)
- 土日は内部が見られる。異次元の空間という感じ^(青)
- 休日オンリー、人力で響き渡る鐘の音^(岡)
- 休日の昼にソラシティ地上広場でのおんぴりと鐘の音を聞くと「駿河台っていいな」と思える^(阿)

国の重要文化財。ここの鐘の音の風景は心地良い。ダイナミックだよ^(横)



2位^{5票} レモン画翠

専門店

- 大正12年創業。豊富な材料を目にするとアイデアが浮かぶ^(落)
- 1980年代までは3店舗あった。建築・都市模型の材料はすべてそろそろ。地方からの来客多し^(ハ)
- 昔は向かい側の丸善2Fにあって外付け階段を上った^(依)
- 模型材料や製図道具の物色が楽しい。4F窓から見える神田川も^(山)
- 画材&文具好きにはたまらないスポット。オシャレな海外文具が数多くそろっている^(押)

50年前の学生は「レモン」というだけでヨーロッパを感じた^(横)

3位^{4票} 聖橋

土木構造物

景観・眺望

- 日大・成瀬勝武先生設計の震災復興橋。いつ見ても美しい^(後)
- まちを切り開く人間の力が感じられる^(押)
- 夕刻、御茶ノ水橋から眺める聖橋と御茶ノ水駅の風景が好き^(落)
- ここから秋葉原方面を眺めると江戸から現在に至る風景の重なりが楽しめる^(阿)



写真：田島洋輔

3位^{4票} さぼうる

喫茶・スイーツ

- 昭和を感じさせる外観^(岡 押)
- ボリュームたっぷりのナポリタンは安くて男子学生も満足^(中 押)
- 混雑するお昼時は避けたほうが無難^(中)
- シックなバー^(天)

昭和の60年間はこんな和洋折衷喫茶店を残したが、平成は何を残せるか？^(横)



4位^{3票} マーチエキュート 神田万世橋

建築物

土木構造物

- 既存ストックを活用した好事例^(岡)
- 旧万世橋駅ホームの展望デッキは鉄ちゃんにはたまらない^(天)
- お店のセンスもいい。川沿いのオープンデッキはもう少し豊かな空間になってほしい^(山)



4位^{3票} 湯島聖堂

史跡・神社仏閣・教会

- 気持ちを落ち着けたいときに。きつと心が整い研究に打ち込めるはず^(阿)
- 都心とは思えない緑の海と静寂。一人で考え事をしたいとき、逃避したいときにオススメ^(押)
- 喧騒を忘れられる。弁当を買ってゆっくり外で食べられる^(後)

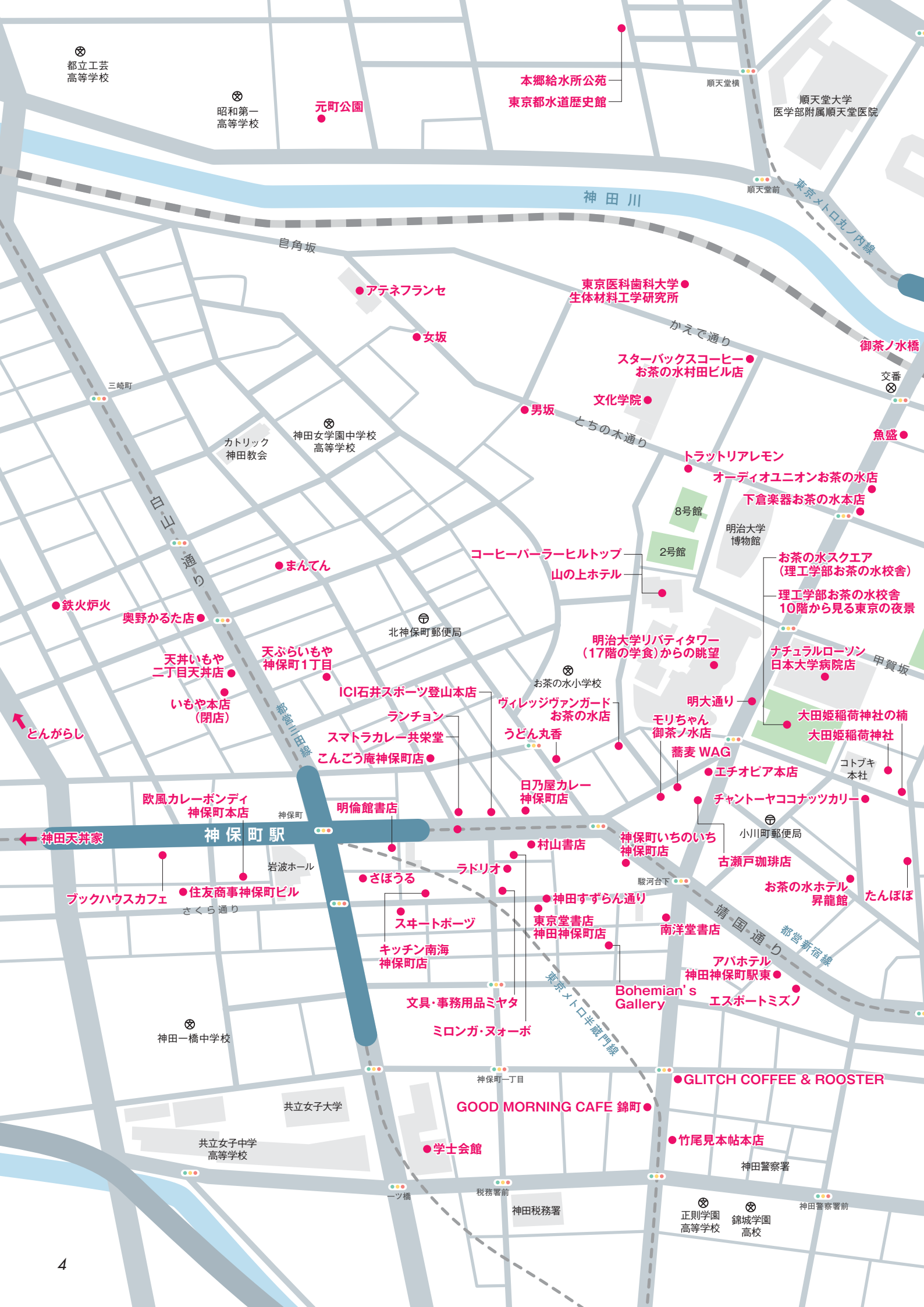


4位^{3票} ECOM 駿河台

植栽

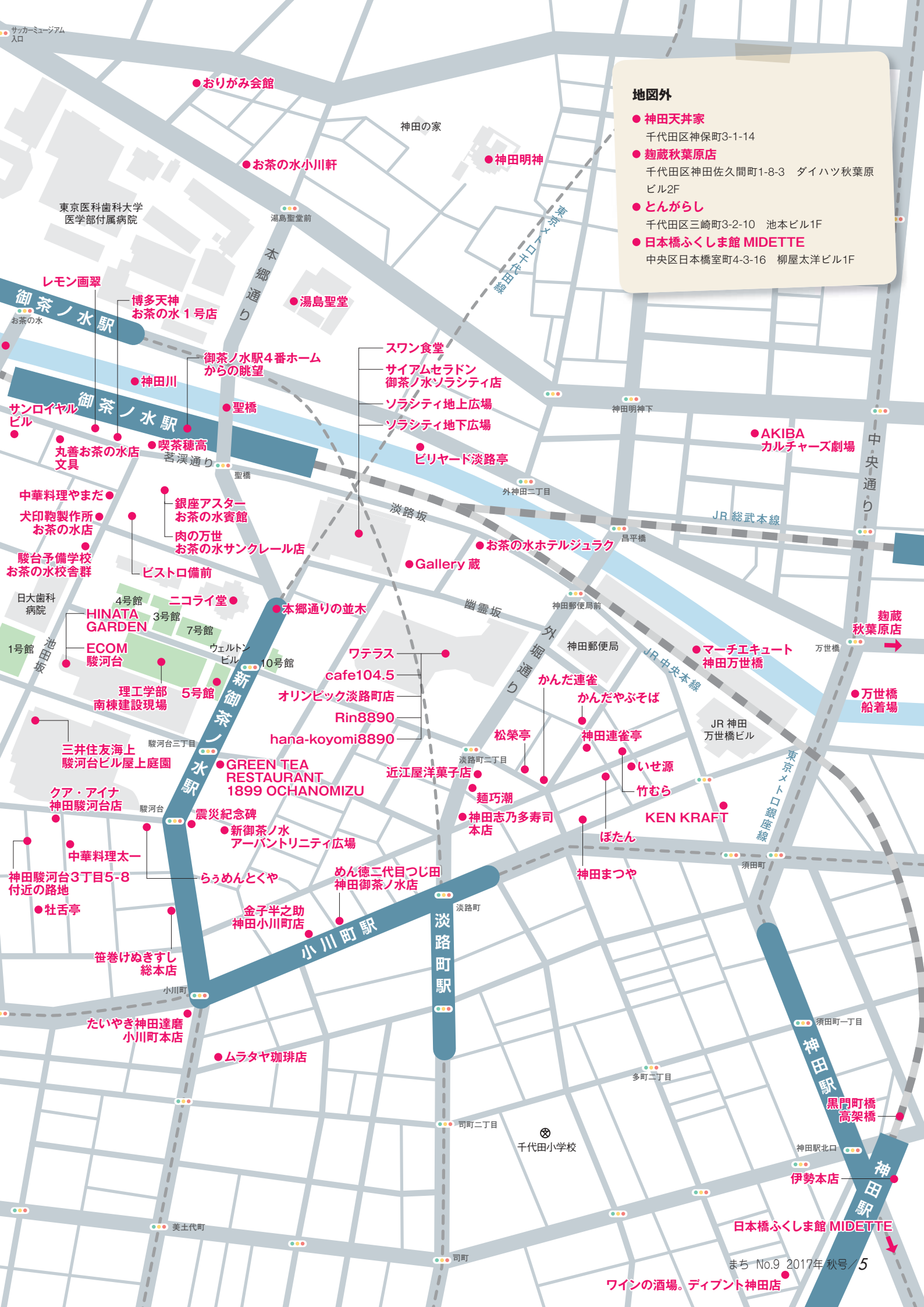
- 第34回緑の都市賞「緑の事業活動部門都市緑化機構会長賞」受賞。緑の種類が豊富で目が癒やされる^(押)
- 樹木・植栽選定基準を設け生物多様性に配慮、エコロジカルネットワークの形成に貢献^(小)
- 都会の雑踏の中でちょっぴり自然や四季を感じることができ、ほっとできる^(高)





地図外

- **神田天井家**
千代田区神保町3-1-14
- **麹蔵秋葉原店**
千代田区神田佐久間町1-8-3 ダイハツ秋葉原ビル2F
- **とんがらし**
千代田区三崎町3-2-10 池本ビル1F
- **日本橋ふくしま館 MIDETTE**
中央区日本橋室町4-3-16 柳屋太洋ビル1F



5位 [2票]

① いせ源 食事(あんこう)

- ・ 風格ある建築 (画)
- ・ あんこう鍋が絶品だが敷居が高く個人では入れず、卒業生の集団で行くばかり (後)

② GREEN TEA RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU 食事(カフェ)

- ・ リーズナブルでおいしい。日本茶のすばらしさ、楽しみ方を伝えられる「お茶のあるおもてなしの食風景」 (小)
- ・ 全国から厳選されたおいしい日本茶と和スイーツが楽しめる。ここでしか飲めない抹茶ビールもオススメ (田)

③ エチオピア本店 食事(カレー)

- ・ 0倍から70倍まで辛さを調整してくれて大変おいしい (後)
- ・ カレーといえばエチオピア。テークアウトで注文すれば行列でも数分で用意してくれるが事前電話が◎ (画)

④ 欧風カレーボンディ神保町本店 食事(カレー)

- ・ 本屋を抜けると店が見える。おいしい (後)
- ・ 味が「辛い/中辛/甘系」から選べる。添えられたジャガイモだけでも満足 (小)

⑤ スキートポーツ 食事(餃子)

- ・ 辛子と七味と醤油で食べる。皮が閉じていない一風変わった餃子だが美味！ (天 中)

⑥ ぼたん 食事(すき焼き)

- ・ 風格ある建築 (画)
- ・ とりすぎが絶品だが敷居が高く個人では入れず、卒業生の集団で行くばかり (後)

⑦ 笹巻けぬきすし総本店 食事(寿司)

- ・ 昔ながらの江戸の寿司。小さいけどおいしい。ランチセットもある (画)
- ・ イートインもお持ち帰りもできる (天)

⑧ 神田まつや 食事(そば)

- ・ 明治から続くそば屋。ごまだれが秀逸。おばさん店員の記憶力にびっくり。午後のおじさんの酒飲みは風情あり (画)
- ・ 池波正太郎が愛したそば屋 (画)

⑨ 中華料理やまだ 食事(定食)

- ・ ボリューム満点、味満点。レバニラ定食は食べ疲れるほどのボリューム！ (画)
- ・ 客層広く半世紀以上営業。有名メニューはないがお店を続けているだけで感動 (画)

いもや本店(閉店) 食事(天ぷら・天丼)

天ぷらいもや神保町1丁目/天丼いもや二丁目天神店

- ・ 学制的ボリュームの天ぷら定食が魅力。値段も学生目線 (画)
- ・ 自分でチョイスもでき、盛りも良くカウンターでの熱々はとてもおいしい (小)

⑩ お茶の水小川軒 食事(洋食)

- ・ レーズンウィッチが最高においしい。正統派洋食の食事でもできる。代官山や目黒に兄弟店あり (天 小)

⑪ 松榮亭 食事(洋食)

- ・ 大正から昭和初期の洋食を彷彿させる。出てきてびっくりの「かきあげ」がおすすめ (画)
- ・ 夏目漱石ゆかりの店。オムライスが美味 (後)

⑫ らうめんとかや 食事(ラーメン)

- ・ カウンターのみの落ち着いた雰囲気。醤油ラーメンと刻みチャーシューご飯が定番 (画)
- ・ お腹いっぱい食べたい時はオススメ (後)

⑬ たんぽぽ 食事(和食)

- ・ 定食メニューが充実。でもおすすめはカツカレー！ (画)
- ・ 学生時代から通い詰め、当時は別の場所でアットホームな店内だった。移転し拡大してから屋時は入れないことも。煮つけや刺し身など、魚定食がオススメ (後)

⑭ 近江屋洋菓子店 喫茶・スイーツ

- ・ サンドイッチやパンも手ごろな価格。喫茶もある。ちょっと不思議な空間構成 (画)
- ・ おすすめはアイスクリームとレーズンサンド。店内で食事するスペースもありドリンクバーも。ショーケースでケーキを選んでゆっくり過ごすのも◎ (半)

⑮ 古瀬戸珈琲店 喫茶・スイーツ

- ・ 窓側に座りカップが陳列された店内を見ながら飲む古瀬戸ブレンドはホッとする。頑張った時や疲れた時はシェーククリームを追加。街の喧騒を忘れさせてくれ読書に最適 (山)
- ・ ゆっくり落ち着いてコーヒーをいただきたい時に。好みのカップをチョイスできる (半)

⑯ たいやき神田達磨神田小川町本店 喫茶・スイーツ

- ・ 心が疲れ切った時の癒やしに。羽根がたっぶりのたい焼きのサクサクがたまらない！ (中)
- ・ 羽根付きたい焼きが有名。粒あんはもちろんクリームも絶品。お土産にいかがですか？ (後)

⑰ 竹むら 喫茶・スイーツ

- ・ あわぜんざいがおすすめ。一緒に出てくる「し

その実」に伝統と優しさを感じる (画)

- ・ 最近はアニメの舞台にもなり、連日ファンが行列を作る。揚げたての揚げ饅頭がオススメ (半)

⑱ コーヒーパーラーヒルトップ 喫茶・スイーツ

- ・ 内装が豪華。サイホンで出した渋めのコーヒーとオリジナルケーキに癒やされる。自分へのご褒美に (中)
- ・ ドアを開けた途端、非日常の空間が広がる。種類は少ないがケーキはどれもおいしい (画)

⑲ お茶の水スクエア (理工学部お茶の水校舎) 建築物

- ・ かつては主婦の友社とともに日本の文化芸術に寄与。ここで働き学ぶことが感慨深い (画)
- ・ ヴォーリスと磯崎新の共演 (画)

⑳ 山の上ホテル 建築物

- ・ 御茶ノ水の歴史を感じさせる象徴的施設。ゆったりとした食事も楽しめる (画)
- ・ こぢんまりして良いホテル。バーはどうなったのかな？ (天)

理工学部5号館 建築物

- ・ 2階からの吹き抜け空間が良い。エレベーターを待つのも心地よい (山)
- ・ 近代建築の5原則を目の当たりにできる (画)

ワテラス 建築物 植栽

- ・ まち科にとって、建物と広場の空間デザイン、まちづくり活動、エリアマネジメント等の手法を実学として学べるフィールド (山)
- ・ 貴重な緑を提供してくれる空間 (画)

㉑ 三井住友海上駿河台ビル屋上庭園 植栽

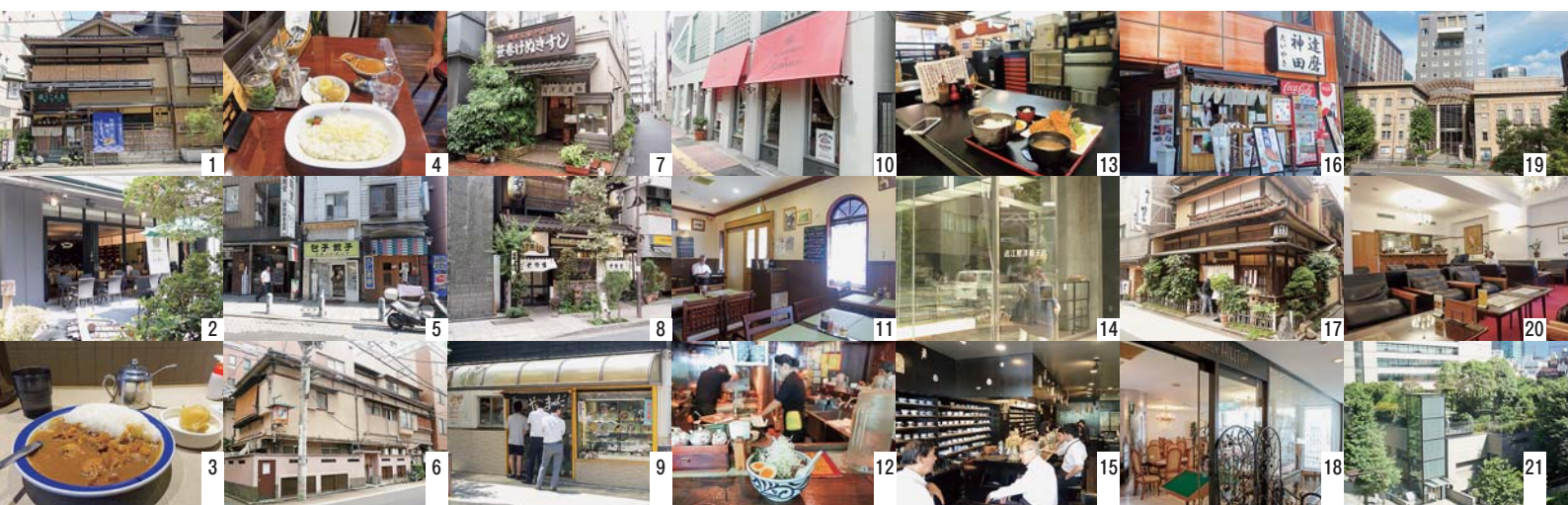
- ・ CSRの一環で造られた屋上庭園で、時間内であれば見学可で貴重な緑地。第3回屋上・壁面。特殊緑化技術コンクール「環境大臣賞（屋上緑化部門）」受賞 (小)
- ・ さまざまな野鳥が息息・繁殖し、5月の繁殖期の早朝には多くの野鳥のさえずりが聞こえる (画)

㉒ 太田姫稲荷神社 史跡・神社仏閣・教会

- ・ 江戸城の鬼門を押さえる神社のひとつ。小さいが大変重要な神仏 (後)
- ・ 神輿蔵はとくに夜間のライトアップが魅力的 (画)

㉓ 御茶ノ水駅4番ホームからの眺望 景観・眺望

- ・ 夕方、対岸のビル群やすぐ下を駆け抜ける丸ノ内線をボーッと眺めるのが好き。疲れた時はとくに… (画)
- ・ 現在は駅改修工事のため臨むことが難しいが、神田川と対岸を覆う木々がとてもきれい (半)



43 文具・事務用品ミヤタ ショップ

- ペンコーナーがオススメ 押

丸善お茶の水店文具 ショップ

- どこかくすぐる文具が充実 阿

44 Rin 8890 ショップ

- フロムジャパンのセレクトショップ。プレゼントに迷ったらまずはココへ 参

45 ICI 石井スポーツ登山本店 専門店 鳥

46 犬印鞆製作所お茶の水店 専門店

- 帆布鞆工房。機能的で品の良いデザイン 八

エスポートミズノ 専門店

- ミズノのスポーツ用品なら何でもある 参

オーディオユニオンお茶の水店 専門店

- 今では珍しいハイエンドオーディオ専門店 八

奥野かるた店 専門店

- かるた、囲碁、双六、ボードゲームなど多数 押

おりがみ会館 専門店

- ギャラリー展示作品のクオリティーは圧巻 押

クラシック音楽用の楽器店 専門店

- 特定の店舗のことではないが、何件かある店の中はみな外の喧騒とは違う趣 依

47 KEN KRAFT 専門店

- “はたらく車”が並ぶ重機の模型ショップ 西

下倉楽器お茶の水本店 専門店

- 創業80年楽器の殿堂、見るだけで圧巻 八

48 竹尾見本帖本店 専門店

- 白を基調にシンプルかつ洗練された空間 山

49 hana-koyomi8890 専門店

- 多肉植物好きにはたまらない緑豊かな空間 押

Bohemian's Gallery 専門店

- 現代アートを中心に展示（一部販売） 押

東京堂書店神田神保町店 書店

- 各ジャンルの選書の新旧適切な構成は圧巻 八

50 ブックハウスカフェ 書店

- 昼夜で子どもも大人も楽しめる2つの顔 半

村山書店 書店

- 土木・建築の古書が充実 阿

51 アテネフランセ 建築物

- 粋な外観 天

学生会館 建築物

- 赤絨毯、ちょっと休憩するには最高 天

かんだ連雀 建築物

- 特養老人ホーム。かつては病院でベントハウスに松田優作「探偵物語」の事務所があった 依

Gallery 蔵 建築物 阿

52 サンロイヤルビル 建築物

- 高層ビルがない時代は御茶ノ水のシンボル 八

駿台予備学校お茶の水校舎群 建築物

- 半世紀近く前から存在し駿河台文化に寄与 依

東京医科歯科大学学生体材料工学研究所 建築物

- こんな所に研究所があるアカデミックさ 依

53 文化学院 建築物 青

54 新御茶ノ水アーバントリニティ広場 公園・広場

- 世界各地の岩石が敷き詰められた小さな広場 押

ソラシティ地上広場 公園・広場

- 都会の雑踏の中でホッとできるゆったり空間 参

55 ソラシティ地下広場 公園・広場

- オシャレな空間で食が気軽に楽しめる 高

本郷給水所公苑 公園・広場

- 和風庭園とフランス式庭園が混在 押

56 元町公園 公園・広場

- 関東大震災の震災復興公園のひとつ 小

57 神田駿河台3丁目5-8付近の路地 街並み

- 下町情緒あふれ、通るだけでも楽しい 西

神田すずらん通り 街並み

- 年1回の“神田古本祭り”がオススメ 西

明大通り 街並み

- 御茶ノ水らしい楽器店が並ぶ 高

理工学部周辺 街並み

- 多くの路線が利用可、新旧のまちが混在 参

58 太田姫稲荷神社前の楠 植栽

- 元々は御茶ノ水駅前にあったシンボルツリー 阿

59 住友商事神保町ビル 植栽

- せせこましい街中に突如現れる緑の塊に「緑化」の力を感じる 押

60 本郷通りの並木 植栽

- イチョウ並木が四季を感じさせる素敵な道 依

神田川 景観・眺望

- 江戸東京再発見コンソーシアムの「神田川コース」クルーズで船上から歴史・文化を感じる 鳥

明治大学リバティタワー

(17階の学食)からの眺望 景観・眺望

- 見渡せるまちの景色が良い 山

理工学部お茶の水校舎10階から見る

東京の夜景 景観・眺望 阿

アパホテル神田神保町駅東 宿泊施設

- 大学から近くベッドや部屋が広い 高

お茶の水ホテル昇龍館 宿泊施設

- シングルルームは何と和室3畳！ 阿

お茶の水ホテルジュラク 宿泊施設

- 朝食バイキングが充実 阿

AKIBA カルチャーズ劇場 娯楽・演芸

- アイドルたちの登竜門のひとつ 八

神田連雀亭 娯楽・演芸

- 二ツ目の落語を昼は500円で楽しめる 田

ビリヤード淡路亭 娯楽・演芸

- 川沿いからは4階建て、通りからは2階建てに見える。一見入りにくいが中は昔ながらの落ち着いた雰囲気 山

61 神田明神 史跡・神社仏閣・教会

- 学生時代から不安になったら拝みに行く 依

62 震災記念碑 史跡・神社仏閣・教会

- 関東大震災での被害の様子を刻む 押

東京都水道歴史館 文化施設

- 無料で水道の歴史が学べる 依

63 黒門町橋高架橋 土木構造物

- 高架下が「街並み」に見える 山

64 万世橋船着場 土木構造物

- 何の変哲もない空間が船着場となるとは 鳥

65 女坂 地形 押



“地元” 考

編集長 横内憲久

“地元” 神田・御茶ノ水・神保町は、江戸期より町人、武家、社寺等が混在した地域であり、また明治期から昭和初期頃からの多様な歴史・文化遺産が現在でも生きている地域です。それに加え、超高層建築物が何棟も立地するなど最新の機能を有した地域でもあります。

そのため、まち科の先生方のお気に入りの場所は、老舗の飲食店をはじめ、この地域ならではの専門店、寺社、土木建築物、公園等、またそれらが醸し出す景観など138カ所（件）と多岐にわたりました。

“坂” と “通り” はどうした？

今回の結果から「オヤー？」と思ったのが、授業では気にかけている“通り”や“地形”に関する場所があまり出てこなかったことです。昭和の歌謡界の先頭を駆け抜けた、明治大学出身の阿久悠という大作詞家は、1955（昭和30）年3月に淡路島から上京した際、大学のある御茶ノ水界隈を「バリみたいだ」と感じて、駅から見える聖橋の形や、大学に向かう緩やかな坂道（たぶん明大通り）がお気に入りだったといいます¹。この明大通りをはじめとして、起伏に富むこの地域には、坂道や通りが多くあります。どーんと雄々しい男坂（写真24）となよとした女坂（写真65）が挙げられていたのは同慶の至りですが、JR線路沿いの淡路坂や屈曲したワテラス横の幽霊坂、登り切れば水道橋地区や東京ドームホテルを一望できる皂角坂も秀逸です。

通りになると、著名なすずらん通りはやっと1票でしたが、それこそパリを思わせる緩やかな線状のとちの木（通称マロニエ）通り、これと並行に直線上に走るかえで通りは駅前の茗溪通りに続きますが、これらが挙がらなかったのが不思議です。1号館横の御茶ノ水駅からの池田坂、それに直行して山の上ホテルに向かうのは甲賀坂といいます。地元民としては覚えておきましょう。ついでに、神田川が1票は寂しい。

まち科ならではのベスト11

最も多くの先生方から“お気に入りの場所”とされたのは「南洋堂書店」で、18人中6人の支持を受けました。創業50年。古書、新刊書に関わらず建築・都市・まちの分野に特化した書店で、建築系の専門家なら知らない人はいないという書店です。店舗は明大通りに直接面しているのですが、入り口は横の路地からというひねりが加わり、店内も吹き抜けで木を多用したしゃれた空間となっています。

次いで5人が選んだのは、「ニコライ堂（東京復活大聖堂）」と「レモン画翠」でした。ニコライ堂はたかだか高さ34.5mの佇まいですが、周囲に超高層建築ができようが、その存在感は他を圧しています。1891（明治24）年に竣工しましたが、関東大震災で被災し、1929（昭和4）年に再建されました。また、それより古い1923（大正12）年創業のレモン画翠は、画材、建築模型材料、文具などの専門店。まち科の学生ならまず知っているはずです。整った各階の商品レイアウトはデザイン店ならではのセンスを感じさせます。ここまでがベスト3で、やはり地元オンリーワンの場所が選ばれ、「さすが、まち科の先生」でした。

さらに驚いたのが、4票及び3票を獲得した8件のラインアップです。ベスト11の内訳を見ると、「土木構造物」「景観・眺望」「建築物」（ニコライ堂、御茶ノ水橋、聖橋、マーチエキュート神田万世橋、湯島聖堂）の5件、「書店」「専門店」（南洋堂書店、明倫館書店、レモン画翠）の3件、「飲食店」（さぼうる、神田志乃多寿司本店）の2件、「植栽」（ECOM 駿河台）の1件という、まち科の科目構成（土木、建築、景観、観光、緑地）のようなバランスでした。

5位（2票）になると、途端に飲食関係が多く選ばれました。それでも、10店を超す全国展開する規模のチェーン店は1件も入っていませんでしたし、ほとんどが地元発祥か地元で頑張っている店舗ばかりです。



▲ 上左 カトリック神田教会、上中 一誠堂書店、上右 山田書店、下左 高島宅、下右 文房堂



皂角坂



とちの木通り



かえで通り



茗溪通り

飲食店の栄枯盛衰

「とにもかくにも、神保町はカレーと中華料理の町」²と、作家の逢坂剛と嵐山光三郎は語っています。しかし今回の結果からカレー店はたくさん出て来ましたが、中華料理店はほとんど挙がりませんでした。1899（明治32）年に外国人居留地の規制が撤廃され、中国人留学生などの外国人が神保町にも移ってきたため、ここにチャイナタウンが形成され“中華料理の町”となった³といわれています。店舗数は今でも多いのですが、“お気に入りの場所”に挙がらなかったのは、老舗の地としては残念な結果といえましょう。同様に、10年ほど前には御茶ノ水駅周辺に、寿司屋が何店舗もありましたが、今回はまったく揚がりませんでした（無いわけではありませんが）。理由は思いつきません。

カフェ、喫茶店が多いのも“書物・大学のまち”ならではでしょう。3位のさぼうろは、カフェではなく喫茶店の典型です。5位の古瀬戸珈琲店、6位の喫茶穂高、ラドリオ、ミロンガ・ヌォーボなどもサテン系です。もちろんカフェもあります、個性のある喫茶店が全地域に満遍なく分布しています。

頑張っているモノ、消えたモノ

この地元には歴史や文化もありますが、千代田区という日本の中心のさらに中心地であるため、資本主義社会では新陳代謝の激しいまちです。そのため、古いモノはどんどん無くなります。それでも「ご先祖様から受け継いだ土地や仕事」ということで、江

戸っ子の心意気で頑張っている場所も少なくありません。古書店街が健在なのも、外堀通りから東側の神田淡路町二丁目界限（通称、神田イースト）の老舗店群も、心意気の典型といえましょう。

残念ながら消えていった



神田明神門前の天野屋（弘化3年創業）

“地元”神田・御茶ノ水・神保町は歴史が長く、多くの人が集まったため、いろいろな視点から面白がられているまちです。現在、書店に行けばすぐ手に入る本を紹介しておきますので、この特集をきっかけとして深くこのまちを知り、遊び、勉強してください。

もっと“地元”がわかる本

『東京人』2017年7月号「特集：土木地形散歩」（東京出版）930円／『東京人』2016年10月号「神田 East 散歩」（東京出版）930円／『東京人』2002年10月号「神田 神保町の歩き方」（東京出版）900円／『散歩の達人』2015年10月号「神田・神保町」（交通新聞社）700円／『みんなの神田 神保町 御茶ノ水』2017.6（京阪神エルマガジン）933円／『神田万世橋まち図鑑』2014.9（フリックスタジオ）1944円



金ペン堂（大正9年創業）



顔のYシャツ（大正7年創業）

場所も多くあります。その中でも「看板建築」（1975年、建築家・藤森照信氏が命名）が代表でしょう。看板建築とは、関東大震災後建てられた木造2、3階建ての住宅付店舗で、ファサードに銅板を打ち付けた衝立のような、看板を兼ねた外壁を持ち、自由な造形がなされている建物です。屋根は陸屋根、マンサード屋根が一般的で、丸窓やアーチ窓などが施され、デザインを主張する商店建築といえます。昭和初期に建てられたものが多く、老朽化ゆえ続々と解体されています。今後確実に無くなりますので今のうちに見に行っておください。



看板建築その1（三鈴堂眼鏡店）



看板建築その2（岡昌裏地ボタン店）



看板建築その3（海老原商店）



▲ ワテラス広場

▼ 丸善書店前屋台



お茶美前居酒屋横丁 ▲

- 1 与那原恵、「深田公之」の東京地図、東京人2017.9、都市出版／津軽海峡冬景色、北の宿から、UFO など演歌からアイドル、フォークソング、CM まで5000曲以上の作詞を手掛ける。レコード大賞は最多の5回受賞。シングル売上数6834万枚。小説「瀬戸内少年野球団」は映画にもなった。明治大学には業績を讃え「阿久悠記念館」がつくられた。深田公之は阿久悠の本名。2007年没（70歳）
- 2 逢坂剛・嵐山光三郎、毎日歩く神保町、毎日来たい古書の街、東京人2002.10、都市出版
- 3 白井いち恵、中国人留学生たちの神保町青春グラフィティ、みんなの神田 神保町 御茶ノ水、京阪神エルマガジン社、2017.6

みなさんにとって、いよいよこの後期は進路について真剣に考え、決断すべき時期となります。しっかりと取り組んでください。

1. スケジュール

日本経済団体連合会（経団連）は「採用選考に関する指針」の中で、みなさんが対象である2019年度入社の新卒者採用について、2018年3月1日以降に採用広報活動（会社説明会等）、同年6月1日以降に採用選考活動（採用試験）、同年10月1日以降に内定日、とするスケジュールを提示しました。経団連に加盟する企業はこのスケジュールに沿って採用選考することになっています。しかし、実際には外資系など経団連に非加盟の企業などを中心に、多くの企業がこれよりも早い日程で実質的な選考を進めていくと予想されます。

公務員1次試験は、国家公務員総合職試験（今年度は4月30日実施）を皮切りに、都道府県庁、政令指定都市、国家公務員一般職、市区町村と順次実施されます。1次試験を通過すると2次試験以降に臨むことになります。来年度の試験日程はまだ公表されていませんが、国家公務員試験採用情報 NAVI (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>) や、公務員試験情報こむいん (<http://comin.tank.jp/>)、各自治体のホームページを頻繁に確認しておくことが大切です。なお、国家公務員試験に関しては例年2月初頭に試験スケジュールが発表されますが、地方自治体はそれぞれで申込期間や実施日が異なりますので注意してください。

また、本学大学院の入学試験は、例年6月下旬～7月初旬、9月、3月に行われます。大学院への進学もぜひ選択肢のひとつとして考えてください。

昨今の就職活動は短期決戦と言われています。経団連のス

ケジュールでは、非常に多くの企業が3月から5月の3カ月間に集中して採用活動を行うことになります。こういった短期決戦を乗り切るためには、早い時期に始動することが肝心です。まずは今から情報収集を始めてください。知らないことをやりたいとは思えないはずですが、自分で情報を収集し、自分の可能性や選択肢を広げ、どんなに遅くとも年内には自分がやりたい仕事（業種）、志望企業を決めておきましょう。

2. 情報収集しよう！

・就活関連の冊子を活用しよう！

後期ガイダンスで「CAREER2018」を配布しました。理工学部オリジナルの就活用冊子です。有益な情報がコンパクトにまとまっていますので活用してください（近日中にスマートフォン版がダウンロード可能となります）。また、書店にはSPI試験対策、履歴書・ESの書き方、面接対策、公務員試験対策など就活に関する本が多数置いてあります。必要に応じて自分にあったものを選ぶと良いでしょう。

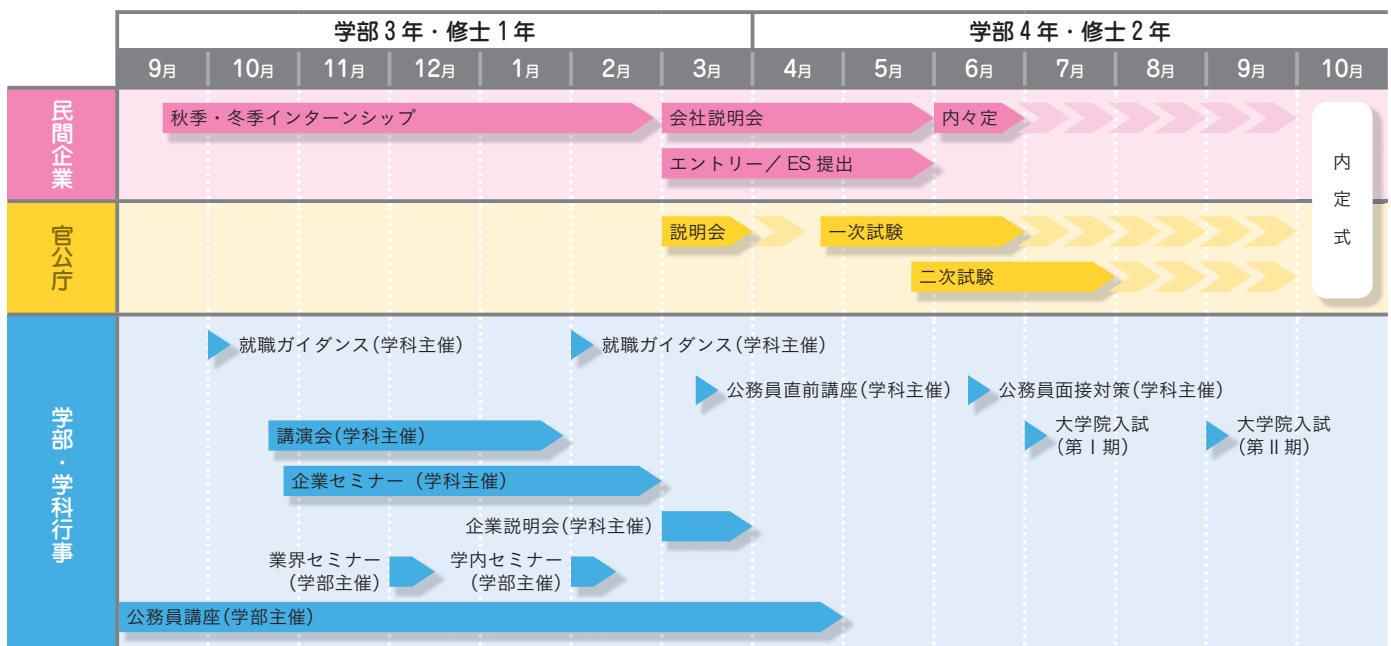
・就活支援サイトを活用しよう！

リクナビ、マイナビ、キャリアスなどの就活支援サイトへの登録を済ませていますか？ まだの人はすぐに登録してください。各種の情報を入手できるだけでなく、インターンシップ・合同セミナー・説明会などへのエントリーや申し込み、書類提出もこれらのサイト経由で行う企業がほとんどです。

・行事（インターンシップ、セミナー、説明会、講演会など）に参加しよう！

夏休み中のインターンシップは就業体験が主目的でしたが、秋以降は就職活動の一環だと思ってください。また、秋以降には学内外でセミナーや説明会、講演会が開催されます。学内では、学科主催の「就職活動ガイダンス」「企業セミナー」「OB

キャリア支援・就職活動の概略スケジュール



／OG・リクルータによる説明会・面談」「公務員1次試験・面接対策講座」、本部や学部主催の「公務員講座」「業界セミナー」など多数の講座が開催されます。学外では、就活支援サイトや各企業のホームページに開催告知が出ます。このような行事は、実際に働いている方々の話を直接聞いたり、質問をできる貴重な機会です。資料やインターネットだけでは分からないことがたくさんあるはずです。積極的に参加しましょう。

・周りの人に相談しよう！

自分一人で考えてばかりでは、悩むことも多々あるでしょう。自分の考えを整理したり、自分の意思を確認するためにも、家族、友人、ゼミ・卒研の指導教員、就職指導課キャリアアドバイザーなど身近な人に相談すると良いでしょう。学科の就職指導担当教員（天野・小木曾・高村・田中・仲村・山崎）、公務員指導担当教員（高村・後藤）も、もちろん相談にのります。

・まちづくり工学科事務室を活用しよう！

5号館2階のまちづくり工学科事務室および掲示板には、就活支援サイトには掲載されない学校推薦や学科宛の求人情報などの資料を整理し、みなさんが閲覧したり、自由に持ち帰ることができるようにしてあります。また、日本大学の履歴書も事務室で配布しています。

・就職指導課を活用しよう！

就職指導課はお茶の水校舎2階にあります。窓口で申し出れば公務員試験の過去問題が閲覧できます。また、常駐のキャリアアドバイザーから、就職活動全般についての相談、ES（エ

ントリーシート）や履歴書の添削、面接対策等の指導が受けられます。

3. 資格について

建築士（一級・二級・木造）と国土交通省技術検定（土木・建築・造園・建設機械・電気工事・管工事の各施工管理技士）は、指定された科目を単位修得して卒業すれば、受験資格の要件（実務経験除く）を満たすことができます。該当科目で未修得の科目があれば、早めに単位取得することを強く勧めます。これらを採用の必須とする企業も多くありますし、そうでなくても要件を満たしておくことがみなさんの今後にとって有用となります。また、技術士補や宅地建物取引主任士の取得は、就職活動で有利とはなっても、不利となることは決してありません。この秋に受験予定の人は頑張ってください。

4. 授業について

就活に気をとられ過ぎて授業を休んでばかりでは本末転倒です。大学は就職予備校ではありません。みなさんが最優先すべきことは大学での勉強であることを決して忘れずに。

この就職活動を機に、真剣に将来を考え、悩み、自分の道を切り拓いてください。われわれ教員は、できる限りみなさんをサポートしていきたいと思っています。相談などあれば遠慮なくどうぞ。

平成29年度前期 “まち” 行事・イベントカレンダー

3/18(土) 横内憲久先生最終講義

本学科初代教室主任（学科長）の横内憲久特任教授が3月末に定年を迎えるに当たって、最終講義が1号館6階CSTホールで行われ、約200人が来場しました。90分間にわたる講義では、専門であるウォーターフロント学の発端から現在の研究テーマまでをお話しされました。その後、ホテルニューオータニに場所

を移した記念パーティーは、小嶋勝衛元日本大学総長・理事長、高田邦道日本大学名誉教授、陣内秀信法政大学教授のご祝辞、岡田智秀教授親子の獅子舞などにより、盛会となりました。



横内先生最終講義



記念パーティーでの岡田先生親子の獅子舞

3/25(土) 卒業式（学位記伝達式）、卒業パーティー

〈学位記伝達式〉143教室 15:50～16:20



第1期生卒業生数 84名

〈卒業パーティー〉1号館カフェテラス 18:00～19:00



全教職員と卒業生が一堂に会して卒業を祝う

4/1 土 大学院まちづくり工学専攻 第1期生入学

〈専攻主任〉八藤後 猛
 〈大学院担任〉後藤 浩
 〈M1生〉9名

4/4 火 教科ガイダンス

〈教室主任〉八藤後 猛（補佐：後藤 浩）
 〈担任〉1年生 小木曽 裕、依田光正、山崎 晋
 （補佐：落合正行）
 2年生 田中 賢、阿部貴弘（牟田聡子）
 3年生 天野光一、高村義晴、押田佳子（西山孝樹）
 4年生 岡田智秀、仲村成貴（田島洋輔）
 大学院 後藤 浩
 〈就職〉仲村成貴、山崎 晋、高村義晴、天野光一、田中 賢、
 小木曽 裕

〈学務〉後藤 浩

〈広報〉岡田智秀、田島洋輔（まち編集：横内憲久）

4/7 金 新入生歓迎式(船橋キャンパス)



4/10 インセンティブ後の新入生集合写真

5/13 金 オリエンテーション



Aコース 東京の近代土木遺産を訪ねる
 天野光一・西山孝樹



Bコース 海の上からまち巡り「東京新名所・発掘クルーズ」
 岡田智秀・落合正行・田島洋輔



Cコース 原宿・表参道の歴史と今：新たな発見を！
 小木曽 裕



Dコース まちづくりのための治水・利水施設「ダム」の大きさ・デザインを感じる
 後藤 浩



Fコース ダイアログ・イン・ザ・ダークによる暗闇体験とまち歩き
 田中 賢



Gコース 小江戸川越まちあるき「名所+α巡り」
 仲村成貴



Hコース 秋葉原の歴史と文化探訪 青果市場から電気街、そして世界へ—文化の発信へ
 八藤後 猛



Iコース 五感で楽しむ初夏の神楽坂まち歩き～神楽坂界限に積層する新旧まちづくりプロジェクトを訪ねる～
 阿部貴弘



Jコース 1964東京オリンピックとその周辺を歩く～原宿・代々木の歴史のみどり探訪
 押田佳子



Kコース 世界標準のユニバーサルデザイン設備
 依田光正



Lコース 横浜みなとみらい地区周辺散策
 山崎 晋

※Eコースは中止

6/11 日 附属高校生のためのオープン カレッジ（駿河台キャンパス）

まち科ブース来場者数： 451名（昨年332名、一昨年281名）

理工学部総来場者数：1,052名（昨年684名）



6/24 土 後援会父母面談会 （船橋キャンパス）



7/9 日 駿河台入試フォーラム （駿河台キャンパス）

まち科ブース来場者数： 288名（昨年516名、一昨年332名）

理工学部総来場者数：1,413名（昨年1,716名）



8/5 土 6 日 オープンキャンパス （船橋キャンパス）

まち科ブース来場者数

・ 1 日目： 760名（昨年765名、一昨年680名）

・ 2 日目： 520名（昨年689名、一昨年487名）

理工学部総来場者数

・ 1 日目： 4,182名（昨年4,561名、一昨年4,066名）

・ 2 日目： 3,842名（昨年3,888名、一昨年3,215名）



8/15 火 - 9/13 火 岡田智秀教授 海外出張

日 程：30日間

行き先：米国ハワイ州立大学・ハワイ州ホノルル沿岸地域・
カリフォルニア州サンフランシスコ沿岸地域等

目 的：米国沿岸域管理法（CZMA）に基づくビーチフ
ロントマネジメントに関する調査研究



土地利用が沖合方向へと前進したことで海岸侵食が進む地区（手前）
と土地利用を陸域方向に控えることで美しい海岸が保持されている
地区（奥）

8/26 土 後援会地方父母懇談会

まち科出席状況

・ 宮城会場（山崎 晋）1 組（欠席者 1 名）

・ 新潟会場（田中 賢）1 組

・ 愛知会場（仲村成真）1 組

・ 大阪会場（小木曾裕）2 組



9/26 火 9 月卒業式

まち科卒業生： 3 名

新任教員・職員紹介

平成29年4月1日より着任された教職員の皆様です。よろしくお願いいたします。



教授
こぎぞ 裕
小木 裕

新任 **最終学歴** 1977年 日本大学農獣医学部農学科卒業
学位 2007年 博士（生物資源科学）／日本大学
資格 1999年 技術士（建設部門）
職歴 1977年 日本住宅公団／住都公団
2004年 独立行政法人都市再生機構
2008年 東京農業大学 客員教授（兼業）
2014年 株式会社 UR リンケージ
2015年 日本大学理工学部 非常勤講師（兼業）
2017年 明治大学 客員教授（兼業）
座右の銘 一期一会



助教
やまざき しん
山崎 晋

新任 **最終学歴** 2010年 明治大学大学院理工学研究科博士後期課程建築学専攻修了
学位 2010年 博士（工学）／明治大学
資格 2012年 一級建築士
職歴 2006年 明治大学 助手
2011年 明治大学 助教
2015年 小山工業高等専門学校 助教
座右の銘 今より若い時はない



客員教授
みづき ようこ
廻 洋子

新任 **最終学歴** 1973年 学習院大学文学部史学科卒業
職歴 1980年 株式会社 地中海クラブ（現株式会社クラブメッド）
2002年 淑徳大学国際コミュニケーション学部 兼任講師
2006年 淑徳大学国際コミュニケーション学部 教授
2013年 淑徳大学経営学部 学部長、観光経営学科 教授（2013年は観光経営学科学科長兼務）
2016年 淑徳大学経営学部観光経営学科 特任教授
2017年 敬愛大学国際学部国際学科 特任教授
2017年 日本大学 客員教授
座右の銘 人間万事塞翁が馬



新任 事務 伊東 志野

『焼き物のまち』佐賀県有田町出身です。伝統と歴史ある故郷のまちが大好きです。どうぞよろしくお願いいたします。

非常勤講師

〈学部〉

井内雅子（大成建設）建築デザイン演習

高梨俊一（元 日本大学教授）まちづくり法学

橋本樹宜（協永ソフトエンジニアリング）不動産概論

山登一輝（長寿社会開発センター）まちづくり地理学

〈大学院〉

渡辺 晋（山下・渡辺法律事務所）プロジェクトマネジメント特論

細見 寛（パシフィックコンサルタンツ）インフラマネジメント特論、防災まちづくり特論

本山友衣（日本大学文理学部）環境心理学特論

井伊亮太（パシフィックコンサルタンツ）環境まちづくり特論

佐竹建郎（オリエンタルコンサルタンツ）地域都市経営特論

工藤 誠（オリエンタルコンサルタンツ）地域都市経営特論

横内憲久（日本大学名誉教授）都市デザイン特論

教員人事

■ 昇格

仲村成貴准教授が「教授」へ昇格（4/1）

■ 変更

青木和夫教授が「特任教授」へ変更（4/1）

城内 博教授が「特任教授」へ変更（4/1）

■ 退職

横内憲久特任教授が定年退職（3/31）、「日本大学名誉教授」の称号授与（6/8）

昇格



校友会役員（父母役員）

1年生 菊池秀夫／2年生 榎本雅夫／3年生 井上浩之
4年生 小原和弘／大学院 飯村浩治

お知らせ

まちづくり工学科 第2回海外研修旅行

ヨーロッパのまちづくりを堪能する

平成30年2月27日（火）～3月14日（水） 14泊16日
（同行教員：天野光一 教授）



学会・協会等の受賞、テレビ放映や全国紙・雑誌等に掲載された記事、書籍の出版など、本学科の教職員・学生の活躍を紹介します。

【受賞】

■ 助手 落合正行

2017年日本建築学会作品選集新人賞

対象：ワカミヤハイツ―あだち農まちプロジェクト―

受賞年月日：平成29年9月1日



記事「見て歩き土木遺産 柴又を歩く」

著者：阿部貴弘、石黒未夏、斉藤萌、鈴木和也、眞鍋慧、河野力龍、慶野春毅、吉岡秀斗

掲載誌：『月刊 土木技術』（理工図書）

発行年月日：平成29年1月1日

記事「見て歩き土木遺産 上野を歩く」

著者：阿部貴弘、石黒未夏、斉藤萌、鈴木和也、眞鍋慧、大島和陽、金子竜太郎、桑原朱里、新保貴浩、久島琴音、元木日菜

掲載誌：『月刊 土木技術』（理工図書）

発行年月日：平成29年4月1日

【テレビ番組に出演】

■ 助手 落合正行

MBS 毎日放送「住人十色 #409」

放送日：平成29年3月25日

【新聞に掲載】

■ 教授 八藤後 猛

記事「車いす・ベビーカー・買い物カート 都内でエスカレーター事故多発、5年間で40件 原則禁止でも「つい利用」」（コメント掲載）

掲載紙：産経新聞朝刊

発行年月日：平成29年8月12日

【雑誌に掲載】

■ 准教授 阿部貴弘

記事「城下町」

掲載誌：『東京人』第32巻第7号（通巻385号）（都市出版株式会社）

発行年月日：平成29年7月3日

記事「見て歩き土木遺産 北の丸公園周辺を歩く」

著者：阿部貴弘、石黒未夏、末政明、鈴木和也、高橋佑奈、眞鍋慧、大島和陽、金子竜太郎、桑原朱里、新保貴浩、久島琴音、元木日菜

掲載誌：『月刊 土木技術』（理工図書）

発行年月日：平成29年7月1日

■ 助手 落合正行

記事「自分サイズの家」（「上池台の住宅 いけのうえのスタンド」掲載）

掲載誌：『LiVES』2017年JUN & JUL vol.93（第一プロGRESS）

発行年月日：2017年5月15日

記事「狭小を感じさせない開かれた街のスタンド」（「上池台の住宅 いけのうえのスタンド」掲載）

掲載誌：WEB マガジン『100%LiFE』（マガジンハウス）

掲載年月日：平成29年7月17日

記事「『家開き』最前線―若手建築家たちの挑戦」（「上池台の住宅 いけのうえのスタンド」掲載）

掲載誌：『新建築「住宅特集」』2017年10月号（新建築社）

発行年月日：平成29年9月19日

随時情報を、横内メールまでお寄せください。なお、本年度の学会等での発表は、次号（3月発行予定）にまとめて掲載します。

理工学部南棟建設の進捗 2017.9.20

前回（「まち」8号）の報告では「地下工事がほぼ終わった」（2/20）でしたが、あれから7カ月でなんと16階の床工事まで進みました。予定の19階までは1カ月程度でしょう。その後内装などに時間がかかりますが、来年6月には竣工予定です。まち科の新研究室や製図室などの割り振りが決まったようです。楽しみです。



編集後記

特集「“地元”（神田・御茶ノ水・神保町）お気に入りの場所―教員編」は、編集としてはかなり力が入りました。教員の方からは140の場所が挙げられましたが、お約束通り現在（9月1日時点）無くなっている場所が2カ所ありましたので、全138件ということになります。もちろんすべて現地に行ってみましたので最新情報です。取材は7～9月で、今年の異常な暑さの中、体力がよく持ったなと自分で感心しています。私も地元は40年くらい通っていますが、知っているところは3割くらいでしょうか。いつも同じ場所に行っていたのだなと、まちづくりを教える者として反省しました。それにしても、いろいろな場所があり、楽しかったです。学生諸君、先生方、ぜひ日本有数の歴史、文化、人情溢れる地元を巡って、地元愛を育んでください。（憲）

おわびと訂正

「まち」7号（2016年10月14日発行）12頁の記事に誤りがありました。

誤）客員教授 萩野一彦（はぎわら かずひこ）
正）客員教授 萩野一彦（はぎの かずひこ）
萩野先生ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くおわび申し上げます。（憲）